

平成29年度全国学力・学習状況調査 概要【交野市】

- 調査の目的
- ◆義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の結果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ◆学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ◆そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

■ 調査の概要

- ◆調査実施日：平成29年4月18日(火)
- ◆調査の対象学年：①小学校第6学年 ②中学校第3学年
- ◆調査を実施した学校、児童・生徒数：①小学校：1,011,407人(交野市：10校、684人)
②中学校：990,567人(交野市：4校、777人)
- ◆調査内容：(1)教科に関する調査(国語、算数・数学)

| 主として「知識」に関する問題(A) | 主として「活用」に関する問題(B) |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容・実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能 など | <ul style="list-style-type: none">・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など |

(2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童・生徒に対する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- 学校に対する調査(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)

※本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。序列化や過度な競争につながらないように十分配慮します。

※交野市全体の児童・生徒の現状を十分に把握して、今後の教育施策に反映させ、「生きる力」を育むことに活用します。

※国立教育政策研究所：<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>

【平均正答率】

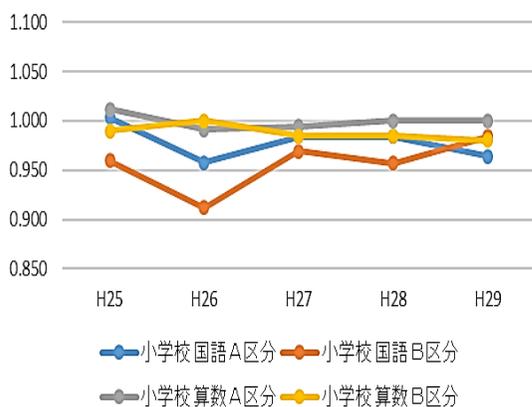
【平成21年度～平成29年度 区分別正答率】

| 小学校 | 交野市 | 大阪府 | 全国 |
|-----|------|------|------|
| 国語A | 72.1 | 72.0 | 74.8 |
| 国語B | 56.6 | 54.0 | 57.5 |
| 算数A | 78.6 | 78.0 | 78.6 |
| 算数B | 45.0 | 45.0 | 45.9 |

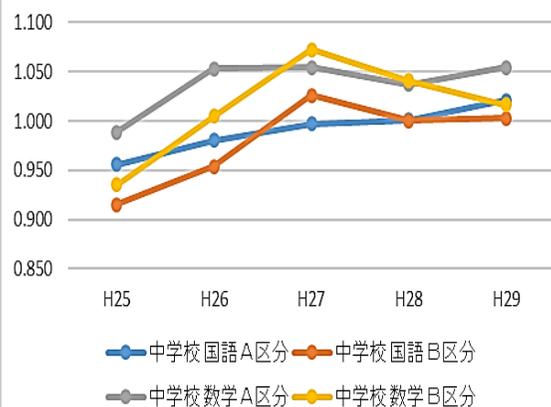
| 中学校 | 交野市 | 大阪府 | 全国 |
|-----|------|------|------|
| 国語A | 79.0 | 75.0 | 77.4 |
| 国語B | 72.4 | 69.0 | 72.2 |
| 数学A | 68.1 | 64.0 | 64.6 |
| 数学B | 48.9 | 46.0 | 48.1 |

| | | | 平成21年度 | | | 平成25年度 | | | 平成26年度 | | | 平成27年度 | | | 平成28年度 | | | ★平成29年度 | | | |
|-----|-----|-----|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|--------|------|--------|---------|------|--------|-----|
| | | | 交野市 | 全国 | 交野市-全国 | 交野市 | 全国 | 交野市-全国 | |
| 小学校 | 国語 | A区分 | 69.9 | 69.9 | 0.0 | 62.9 | 62.7 | 0.2 | 69.8 | 72.9 | -3.1 | 68.9 | 70.0 | -1.1 | 71.7 | 72.9 | -1.2 | 72.1 | 74.8 | -2.7 | |
| | | B区分 | 49.5 | 50.5 | -1.0 | 47.4 | 49.4 | -2.0 | 50.6 | 55.5 | -4.9 | 63.4 | 65.4 | -2.0 | 55.3 | 57.8 | -2.5 | 56.6 | 57.5 | -0.9 | |
| | 算数 | A区分 | 78.0 | 78.7 | -0.7 | 78.1 | 77.2 | 0.9 | 77.4 | 78.1 | -0.7 | 74.8 | 75.2 | -0.4 | 77.6 | 77.6 | 0.0 | 78.6 | 78.6 | 0.0 | |
| | | B区分 | 54.6 | 54.8 | -0.2 | 57.8 | 58.4 | -0.6 | 58.2 | 58.2 | 0.0 | 44.3 | 45.0 | -0.7 | 46.5 | 47.2 | -0.7 | 45.0 | 45.9 | -0.9 | |
| | 理科 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 中学校 | 国語 | A区分 | 73.6 | 77.0 | -3.4 | 74.9 | 76.4 | -1.5 | 79.0 | 79.4 | -0.4 | 75.6 | 75.8 | -0.2 | 75.7 | 75.6 | 0.1 | 79.0 | 77.4 | 1.6 |
| B区分 | | | 68.2 | 74.5 | -6.3 | 64.3 | 67.4 | -3.1 | 50.9 | 51.0 | -0.1 | 67.5 | 65.8 | 1.7 | 66.5 | 66.5 | 0.0 | 72.4 | 72.2 | 0.2 | |
| 数学 | | A区分 | 62.0 | 62.7 | -0.7 | 67.1 | 63.7 | 3.4 | 70.5 | 67.4 | 3.1 | 67.9 | 64.4 | 3.5 | 64.5 | 62.2 | 2.3 | 68.1 | 64.6 | 3.5 | |
| | | B区分 | 53.2 | 56.9 | -3.7 | 41.7 | 41.5 | 0.2 | 60.8 | 59.8 | 1.0 | 44.6 | 41.6 | 3.0 | 45.9 | 44.1 | 1.8 | 48.9 | 48.1 | 0.8 | |
| 理科 | | | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |

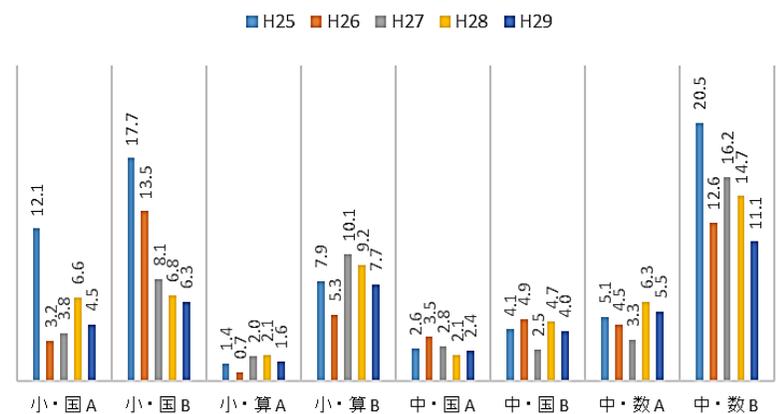
【小】正答率対全国平均比経年比較



【中】正答率対全国平均比経年比較



無解答率の推移





【学力向上に向けた5観点】

(取組みの観点1・3は学校質問紙、観点2・4・5は児童・生徒質問紙において肯定的な回答をした割合を示している)

| 【小学校】 | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | 【中学校】 | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | |
|-------|----------|------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|------------------------------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|
| 取組の観点 | 成果指標 | | 市平均 | | | | 市平均 | 全国平均 | 取組の観点 | 成果指標 | | 市平均 | | | | 市平均 | 全国平均 |
| 1 | 組織的な推進 | 学校全体の学力傾向や課題を全教職員の間で共有する | 50.0% | 50.0% | 80.0% | 70.0% | 40.0% | 62.5% | 1 | 組織的な推進 | 学校全体の学力傾向や課題を全教職員の間で共有する | 25.0% | 50.0% | 75.0% | 75.0% | 75.0% | 56.5% |
| | | 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有する | — | 40.0% | 60.0% | 60.0% | 70.0% | 58.1% | | | 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有する | — | 50.0% | 75.0% | 50.0% | 75.0% | 49.6% |
| 2 | 授業づくり | 授業で自分の考えを発表する機会を増やす | 84.5% | 84.1% | 84.4% | 81.9% | 84.9% | 84.7% | 2 | 授業づくり | 授業で自分の考えを発表する機会を増やす | 70.0% | 74.0% | 82.0% | 83.1% | 80.1% | 84.4% |
| | | 授業で友達との間で話し合う活動を増やす | 82.3% | 84.1% | 81.3% | 81.9% | 87.1% | 84.5% | | | 授業で友達との間で話し合う活動を増やす | 53.7% | 63.4% | 71.2% | 73.8% | 78.6% | 81.8% |
| | | 授業の中で目標を示す | — | 48.1% | 81.1% | 86.4% | 90.4% | 88.2% | | | 授業の中で目標を示す | — | 48.1% | 74.7% | 82.4% | 86.6% | 87.8% |
| | | 授業の最後に学習内容を振り返る活動を増やす | — | 34.4% | 67.7% | 75.5% | 76.1% | 76.2% | | | 授業の最後に学習内容を振り返る活動を増やす | — | 34.4% | 47.9% | 56.1% | 67.9% | 66.1% |
| 3 | 学習規律 | 私語が少なく落ち着いている教室をつくる | 40.0% | 50.0% | 60.0% | 40.0% | 50.0% | 39.3% | 3 | 学習規律 | 私語が少なく落ち着いている教室をつくる | 25.0% | 50.0% | 75.0% | 100.0% | 75.0% | 53.0% |
| 4 | 自学自習力の向上 | 家で授業の復習をする子どもたちを育てる | 38.5% | 41.0% | 40.4% | 33.9% | 37.9% | 53.8% | 4 | 自学自習力の向上 | 家で授業の復習をする子どもたちを育てる | 37.7% | 39.9% | 39.4% | 45.7% | 42.6% | 50.5% |
| | | 普段の日の家での学習時間が30分未満の子どもたちを減らす | 21.4% | 23.2% | 24.2% | 24.3% | 24.7% | 11.3% | | | 普段の日の家での学習時間が30分未満の子どもたちを減らす | 17.1% | 16.2% | 20.1% | 16.8% | 20.7% | 13.2% |
| 5 | 読書習慣の定着 | 読書に親しむ子どもたちを育てる | 74.6% | 76.1% | 73.4% | 73.3% | 71.2% | 79.4% | 5 | 読書習慣の定着 | 読書に親しむ子どもたちを育てる | 60.5% | 65.7% | 65.2% | 66.2% | 61.5% | 64.2% |

【平均正答率】・小学校 : 算数Aは全国と同じ数値だったが、他の教科・区分では全国平均を下回った。
 ・中学校 : すべての教科・区分で全国値を上回った。

【無解答率】・小学校 : すべての教科・区分で減少傾向が見られた。
 ・中学校 : 国語Aを除く教科・区分で減少傾向が見られた。

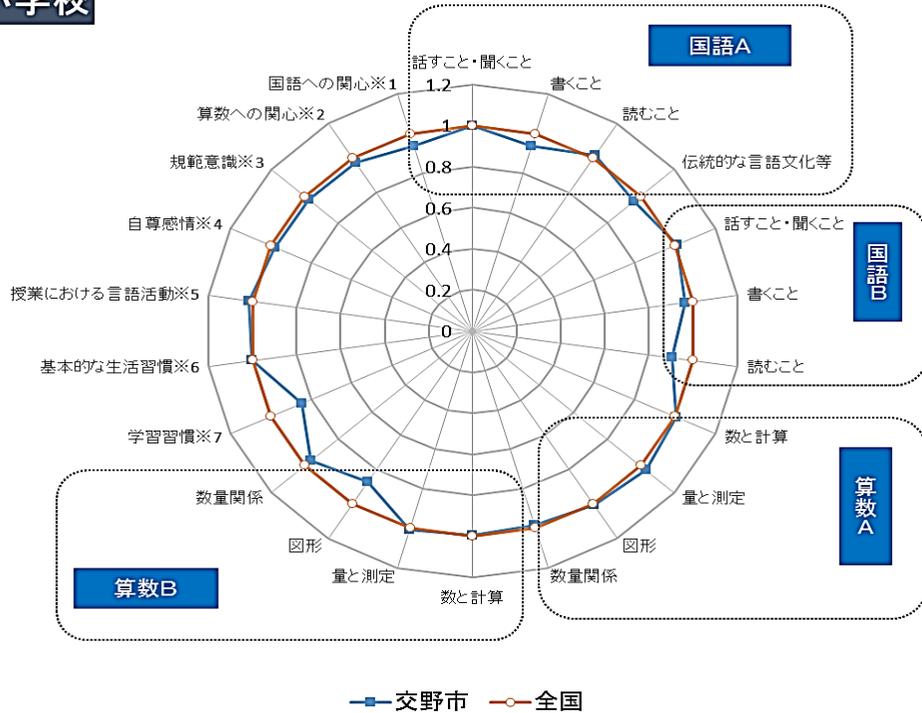
【学力向上に向けた取組み】

・「授業づくり」では、昨年度より肯定的な回答が大幅に増加した。とりわけ、「授業の目標の提示」や「授業の最後の学習の振り返り活動」に関する数値が上昇傾向にあり、小・中ともに授業改善が進んでいる様子が見られる。

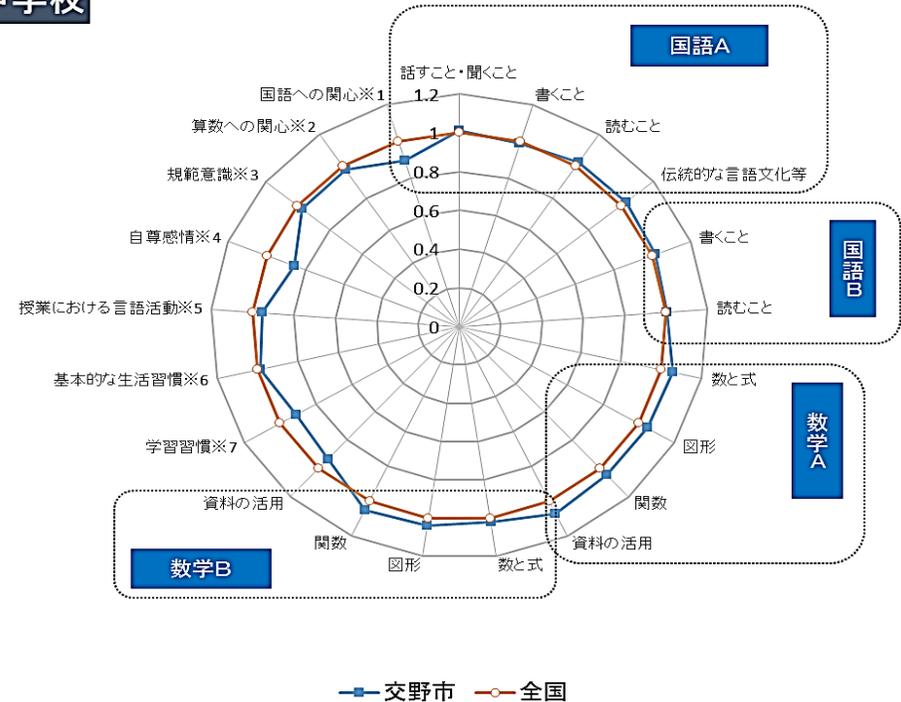


【教科に関する調査及び生活習慣や学習規律等に関する調査より】

小学校



中学校

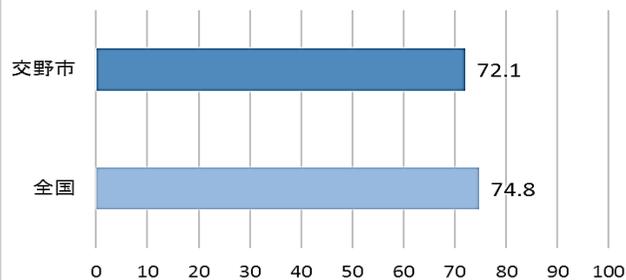


全国平均を1とした場合の比較

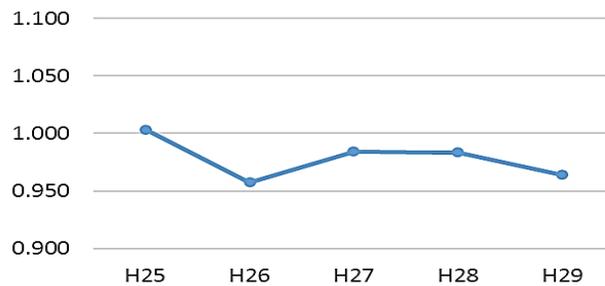
【児童・生徒質問紙より】

- ※1「国語の勉強は好きだ」「国語の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※2「算数・数学の勉強は好きだ」「算数・数学の勉強は大切だ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※3「学校のきまりを守っている」「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※4「自分にはよいところがある」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※5「授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた」「授業では、学級の友達との話し合う活動をよく行っていた」に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童・生徒の割合の平均
- ※6「朝食を毎日食べている」「毎日同じくらいの時間に寝ている」「毎日同じくらいの時間に起きている」に「している」「どちらかといえばしている」と答えた児童・生徒の割合
- ※7「月～金曜日に勉強している1日当たりの時間」に「30分より少ない」「全くしない」以外と答えた児童・生徒の割合

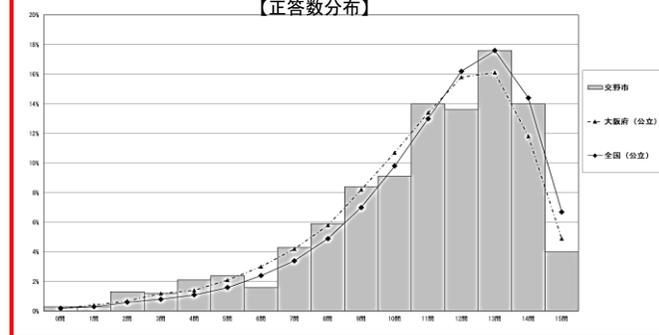
【正答率】



【正答率対全国平均比 経年比較】

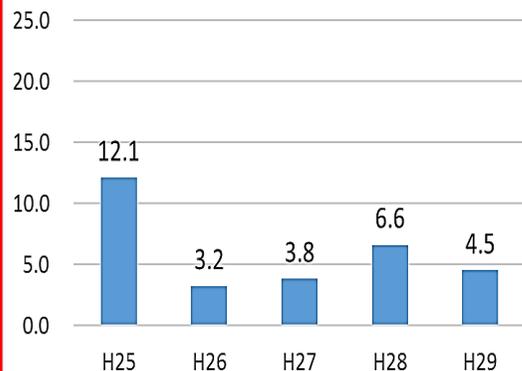


【正答数分布】

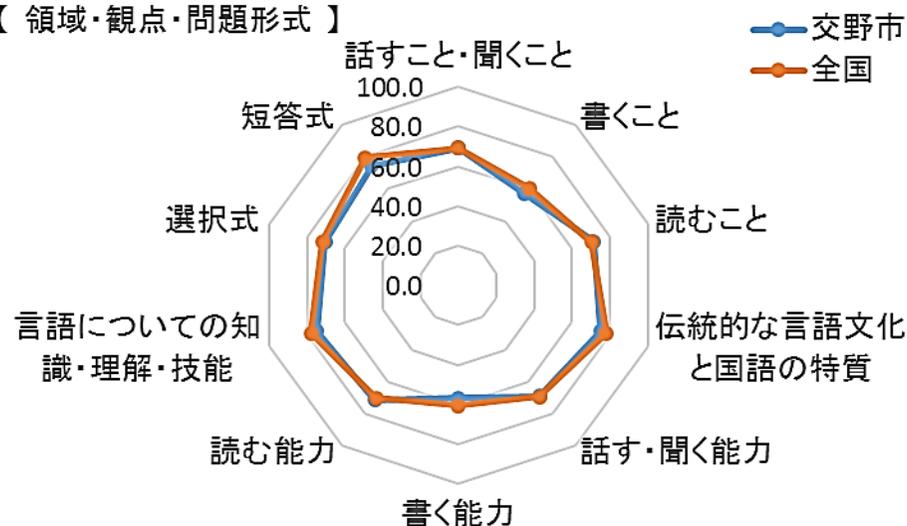


- ・平均正答率は全国値を2.7ポイント下回り、対全国比も昨年度より下回った。
- ・正答数分布の様子は、全国・交野市共に第13問を頂点とした右寄りの山型を描いている。

【無解答率 経年比較】



【領域・観点・問題形式】



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向にある。「短答式」・「書くこと」・「書く能力」については、全国値を下回っている。

【問題7】

漢字を読んだり書いたりする。

■出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

■正答率・無解答率

7-(1) 正答率 36.3% (全国:42.0%)

無解答率 15.2% (全国10.6%)

7-(5) 正答率 72.7% (全国:76.8%)

無解答率 17.1% (全国11.8%)

4年生のみなさんへ

放送委員会

委員会活動の体験のお知らせ

1 日時 2月19日(月)～2月22日(木)
10時25分から10時45分まで

2 集合場所 多目的ルーム

3 参加 ⁽¹⁾たいしょう
4年生の ⁽²⁾きぼう者

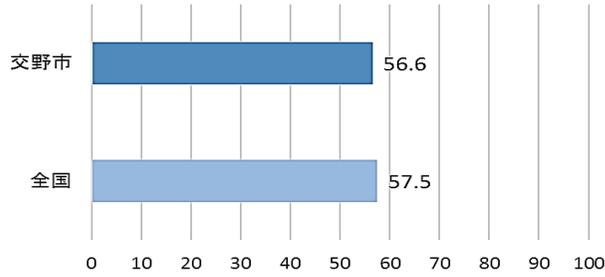
4 申し込み ⁽³⁾期限と申し込み方法
・ 2月14日(水)までに申しこんでください。
・ ⁽⁴⁾事務室前に申し込み用紙と箱が ⁽⁵⁾おいてあります。用紙にクラスと名前を書いて、箱に入れてください。

5 お願い
・ 当日は、全員が体験できるように、放送委員の ⁽⁶⁾指示にしたがってください。



【小学校国語 B区分】(主に「活用」に関する問題)

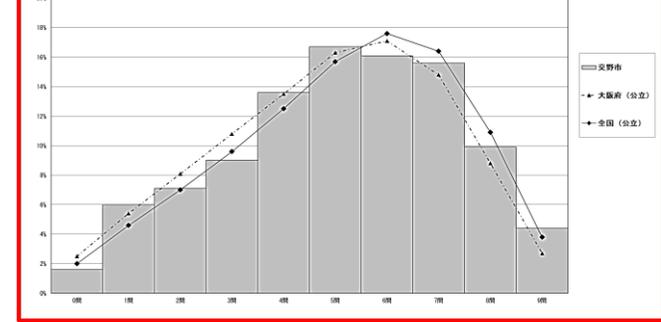
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

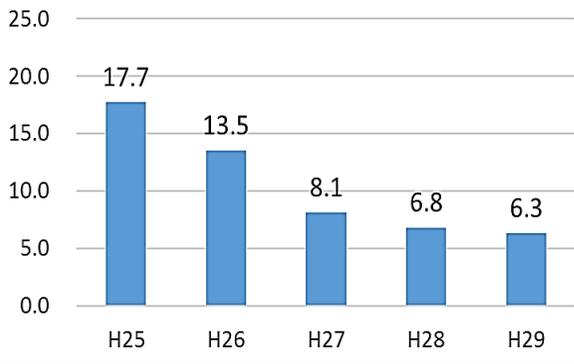


【正答数分布】

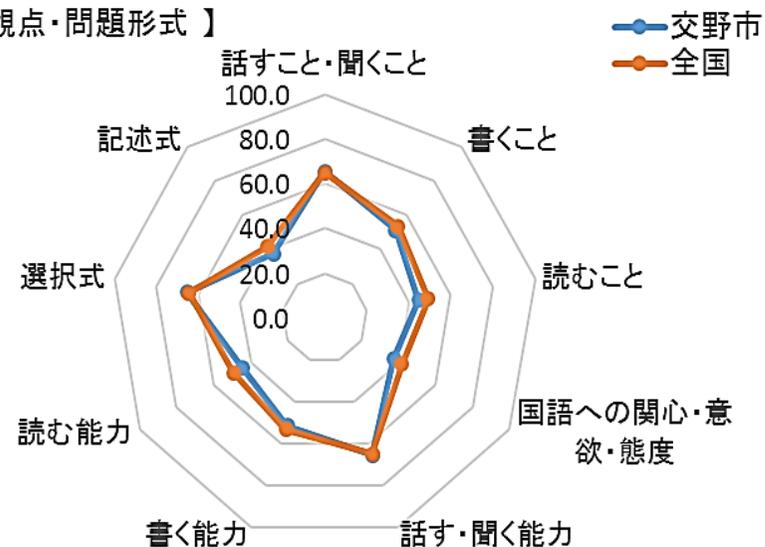


- ・平均正答率は全国を下回ったものの、対全国比は昨年度の値を上回っている。
- ・正答数分布の様子はおおむね全国の状況と同傾向で、全国は6問、交野市は5問を頂点とした右よりの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】

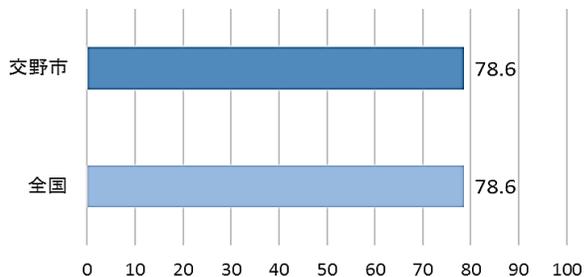


- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国とおおむね同傾向である。
- ・「読むこと」「関心・意欲・態度」「読む能力」「記述式」で低い値を示している。

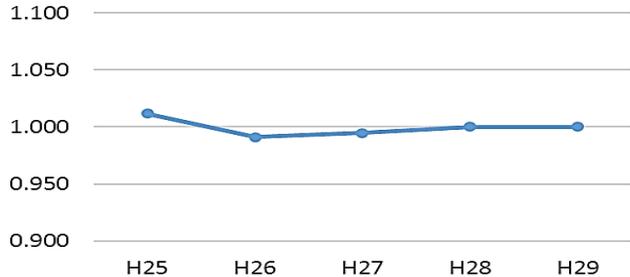


【小学校算数 A区分】 (主に「知識」に関する問題)

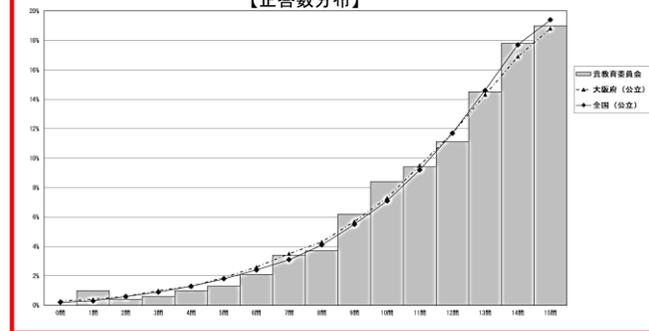
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】



【正答数分布】

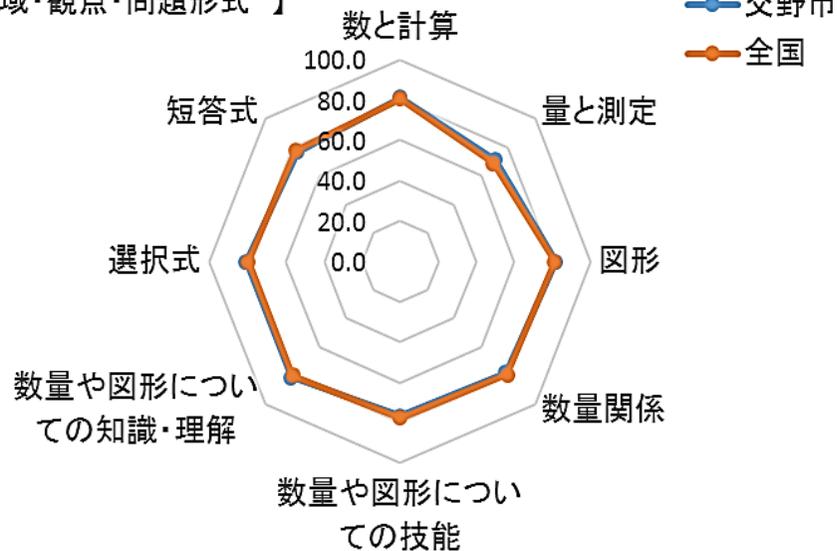


- ・平均正答率は全国と同じ数値だった。対全国比も昨年度と同じ数値だった。
- ・正答数分布の様子は概ね全国の場合と同傾向で、全国、交野市ともに15問を頂点とした左歪曲分布である。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- ・「量と測定」で全国値をやや上回っている。

【問題9(2)】

二次元表の合計欄に入る数を書く。

■出題の趣旨

資料から、二次元表の合計欄に入る数を求めることができる。

■正答率 55.2%(全国:62.8%)

無解答率 6.5%(全国:5.1%)

算数 A 9 資料の分類整理

9

左の記録を下の表にまとめます。

家でイヌやネコを飼っているかどうかを、13人に聞いて、下のように記録しました。

飼っている動物調べ

| 出席番号 | イヌ | ネコ |
|------|----|----|
| 1 | ○ | × |
| 2 | × | × |
| 3 | ○ | × |
| 4 | ○ | ○ |
| 5 | ○ | × |
| 6 | × | × |
| 7 | ○ | × |
| 8 | × | × |
| 9 | ○ | ○ |
| 10 | × | ○ |
| 11 | ○ | × |
| 12 | × | × |
| 13 | ○ | × |

○…飼っている
×…飼っていない

飼っている動物調べ (人)

| | | ネコ | | 合計 |
|----|---|----|---|----|
| | | ○ | × | |
| イヌ | ○ | ア | イ | |
| | × | ウ | エ | |
| 合計 | | | | オ |

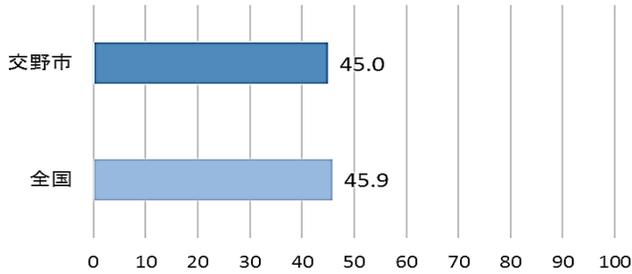
○…飼っている
×…飼っていない

(1) 左の出席番号1番の人は上の表の ア から エ までの中のどこに入りますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

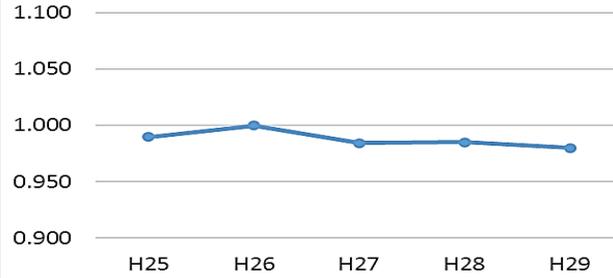
(2) 上の表の オ にあてはまる数を書きましょう。

【小学校算数 B区分】(主に「活用」に関する問題)

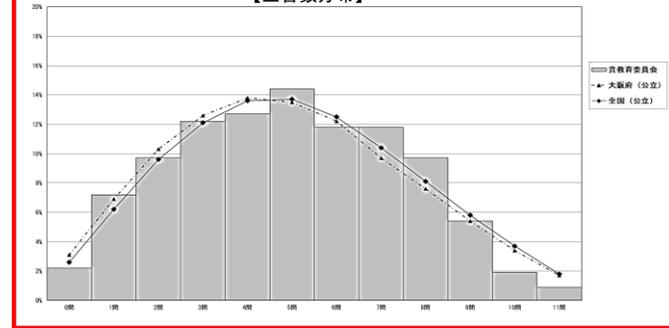
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

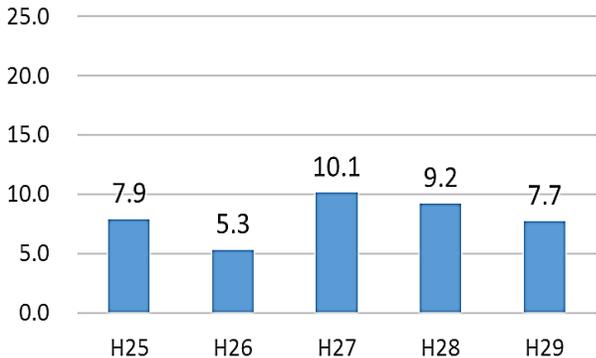


【正答数分布】

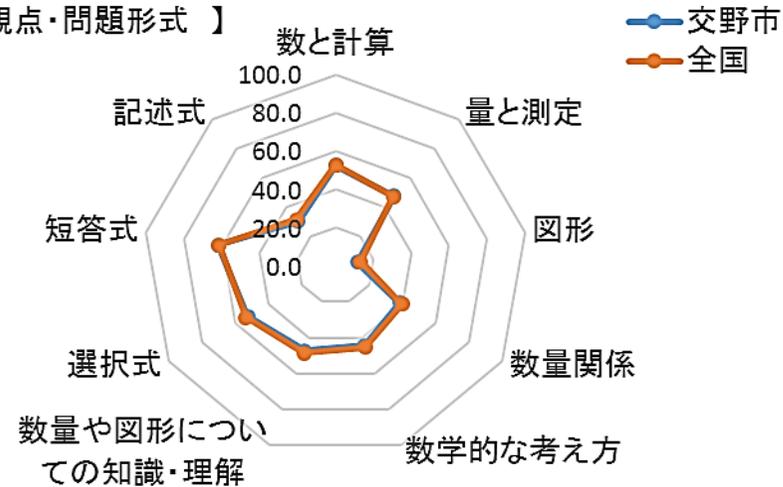


- ・平均正答率は全国値を下回り、対全国比も昨年度より下回った。
- ・正答数分布の様子はおおむね全国の状況と同傾向で、全国、交野市とも5問を頂点とした山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- ・「図形」「記述式」で特に低い値を示している。

【問題5(2)】

与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、「最大の満月の直径」に近い硬貨を選び、選んだわけを書く。

■出題の趣旨

身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量に近いものを判断し、その判断の理由を言葉や式を用いて記述できるかどうかを見る。

■正答率

11.5%(全国13.2%)

無解答率

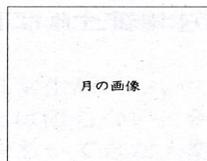
10.2%(全国8.7%)

算数B[5] 日常生活の事象の数学的な解釈と判断の根拠の説明
(見かけの月の大きさ)

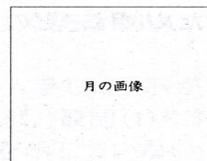
5

月は、地球のまわりを回りながら、地球に近づいたり、はなれたりしています。月の大きさは実際には変わりませんが、月が地球に最も近づいたときに、最も大きく見え、地球から最もはなれたときに、最も小さく見えます。地球から見える満月を円とみて、最も大きく見えるときの見かけの直径を「最大の満月の直径」、最も小さく見えるときの見かけの直径を「最小の満月の直径」ということにします。

「最大の満月の直径」と「最小の満月の直径」を比べたとき、「最小の満月の直径」をもとにすると、「最大の満月の直径」は約14%長いです。



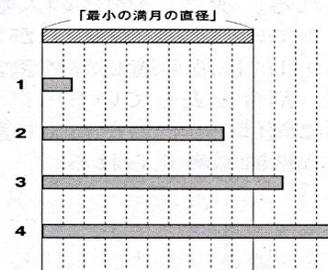
最も小さく見えるとき
(イメージ)



最も大きく見えるとき
(イメージ)

(1) 「最小の満月の直径」を□、「最大の満月の直径」を■として、図に表します。

「最小の満月の直径」をもとにして「最大の満月の直径」が14%長いことを表しているものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



月の直径を、硬貨の直径に置きかえて考えます。
1円玉、100円玉、500円玉の直径は、それぞれ下のとおりです。

硬貨の種類とその直径

| 1円玉 | 100円玉 | 500円玉 |
|---|--|---|
|  |  |  |
| 20 mm | 22.6 mm | 26.5 mm |

(2) 「最小の満月の直径」を1円玉の直径としたときに、「最大の満月の直径」をもとにして14%長くなっている「最大の満月の直径」は、100円玉と500円玉のどちらの直径に近いですか。

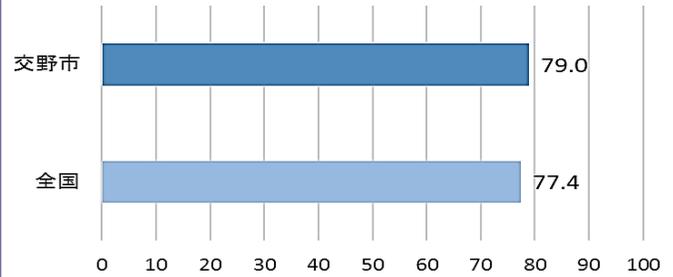
下の1と2から選んで、その番号を書きましょう。

また、選んだ硬貨のほうが「最大の満月の直径」に近いと考えたわけを、言葉や式を使って書きましょう。

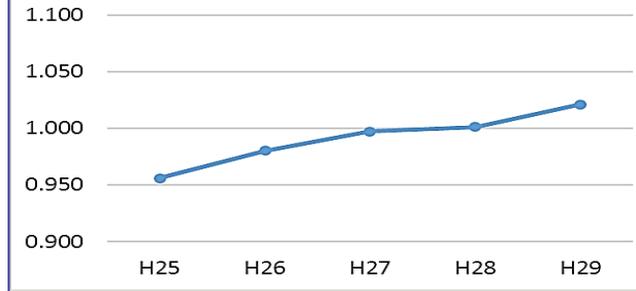
- 1 100円玉
- 2 500円玉

【中学校国語 A区分】 (主に「知識」に関する問題)

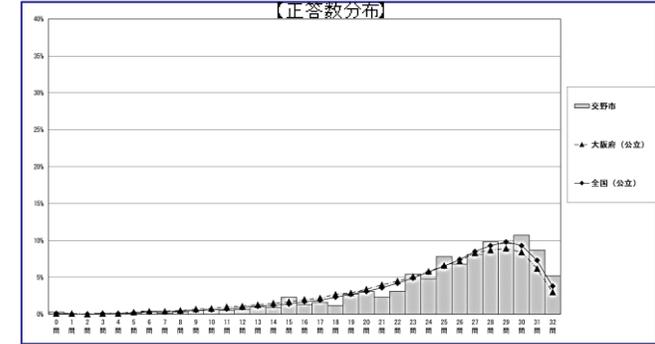
【 正答率 】



【 正答率対全国平均比 経年比較 】

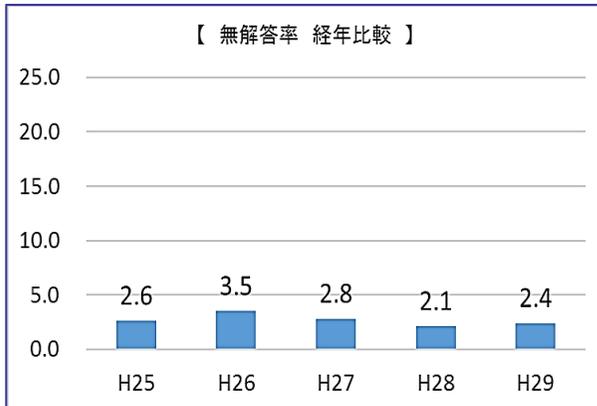


【正答数分布】

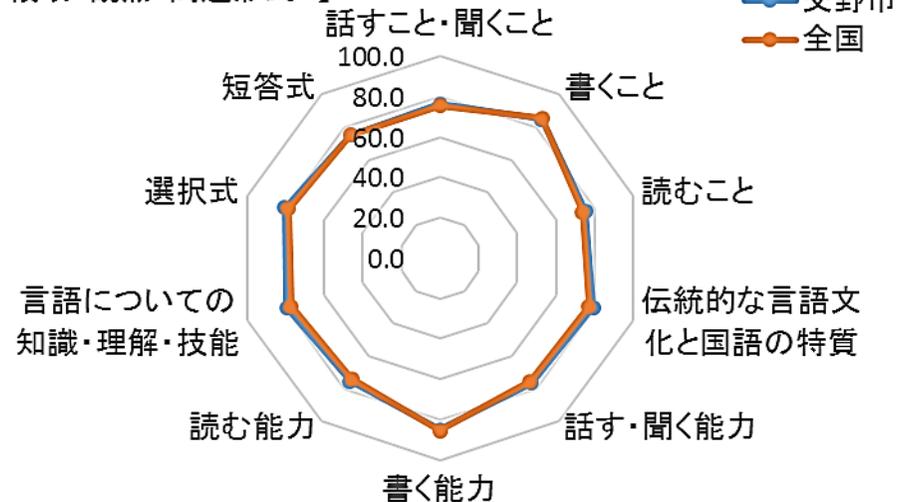


- ・平均正答率は全国を1.6ポイント、対全国比は昨年度より上回った。
- ・正答数分布の様子は全国の状況と同傾向で、30問を頂点とした右よりの山型を描いている。

【 無解答率 経年比較 】



【 領域・観点・問題形式 】



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- ・「読むこと」「読む能力」等で全国値をやや上回っている。

【問題9五】

話合いの記録として適切な言葉を考える。

■出題の趣旨

事象や行為などを表す多様な語句について理解する。

■正答率 35.7%(全国:35.8%)

無解答率 10.5%(全国:13.1%)

国語A⑨ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

⑨ 次の1から3までの問いに答えなさい。

- 1 次の1から3までの文中の「組織のカタカナ」を漢字に直し、横書きで、ねいに書きなさい。
- 2 雨で運動会が中止になる。
- 3 店をイナズ。

二 次の1から3までの文中の「組織の漢字の正しい読みをひらがなで、ねいに書きなさい。

- 1 寝取を決める。
- 2 馴やかな色合い。
- 3 水が垂れる。

三 次のアからエの文は、最も適切な漢字、オの文は、最も適切な漢字を正しくし、いぬき、また、()の1から4までのなかから1選ぶなさい。

- ア 「丁」で、 2 えり 3 むね 4 わきまを正して読み直せ。
- イ よい結果を出し出したときは、「一」事が早 2 論より証拠 3 急がば回れ 4 先陣の「し」といわれるように、かた「慎重に議論をめぐらさる。
- ウ 先生もこの部屋を「一」利用する 2 「二」利用していただく 3 「三」利用です 4 「四」利用は()のですね
- エ 私は映画が大好きです。「一」したがって 2 たじ 3 あるは 4 かなを()、映画は何でもあけではありません。
- オ ナーの割合が「シ」丁 二 新 三 倍 四 進する。

【話し合いの記録】

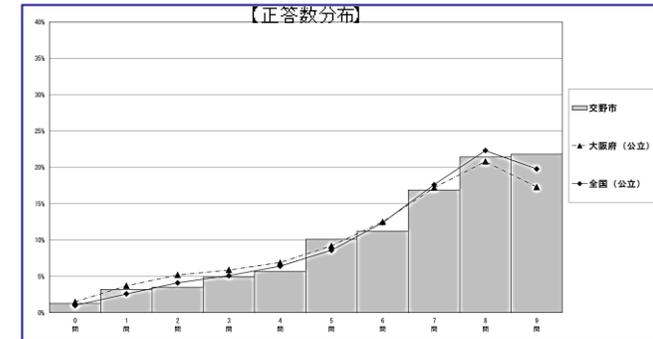
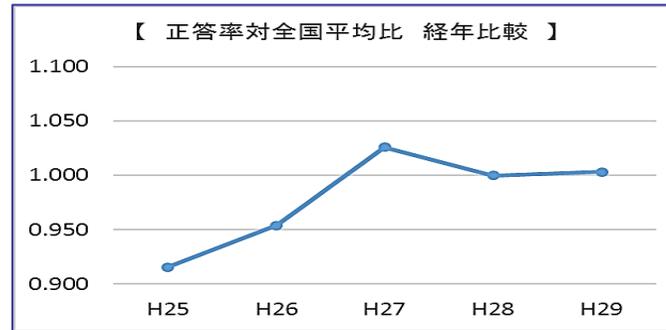
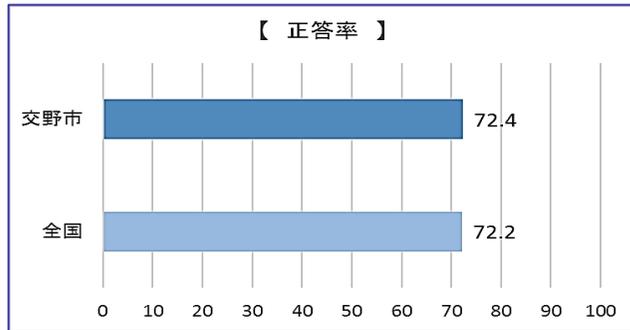
| 校内でのあいさつを活発にするための取り組み | |
|---------------------------|--------------------------|
| 活動内容 | 結果 |
| 1 標語やポスターの募集と掲示を行う。 | 可決 |
| 2 登校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。 | <input type="checkbox"/> |
| 3 下校時間に校門の前であいさつや呼びかけを行う。 | 否決 |

五 次の1から3までの問いに答えなさい。活動内容は、上記の記録です。活動内容の「2」については、今回は結果が出なかったが、あくまでも「意思」をここに示す。□には漢字を、○には漢字を、漢字以外を○で表す。

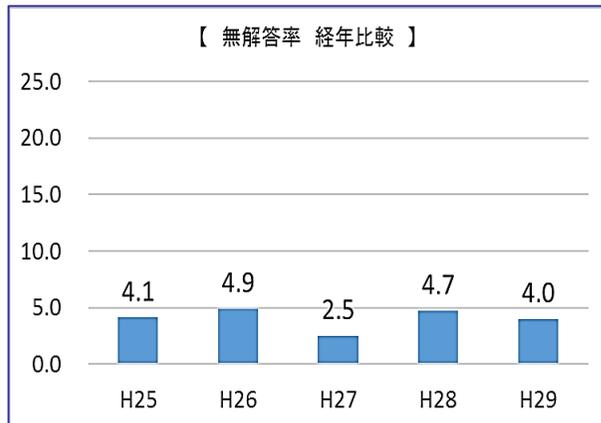
- 1 「2」を「三」にするが、水野さんが他の誰よりも吹奏部の部長にふさわしいと強調しようとした。
- 2 「2」を「三」にするが、水野さんより自分の方が吹奏部の部長にふさわしいと強調しようとした。
- 3 「2」を「三」にするが、水野さんは吹奏部の部長よりも他の技師がふさわしいと強調しようとした。
- 4 「2」を「三」にするが、水野さんよりも他の人同様吹奏部の部長にふさわしいと強調しようとした。

ア 私は、水野さんが吹奏部の部長にふさわしいと思います。
イ 私は、水野さんこそ吹奏部の部長にふさわしいと思います。

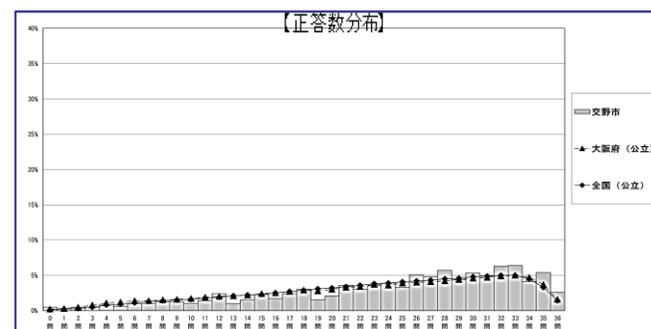
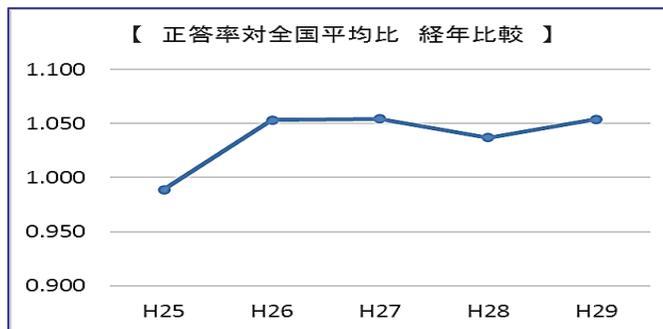
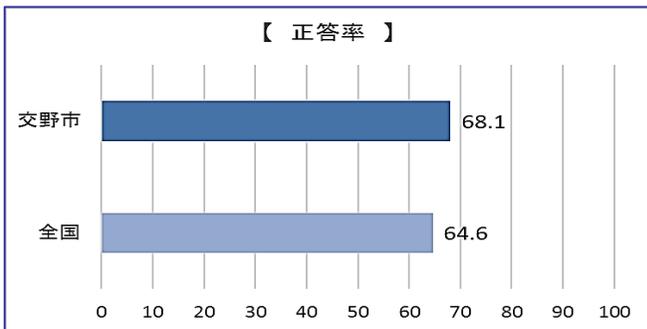
四 横山さんは、吹奏部の部長を決める話し合いでアのように言いました。言いかたを添削して最も適切なものを、次の1から4までのなかから1選ぶなさい。



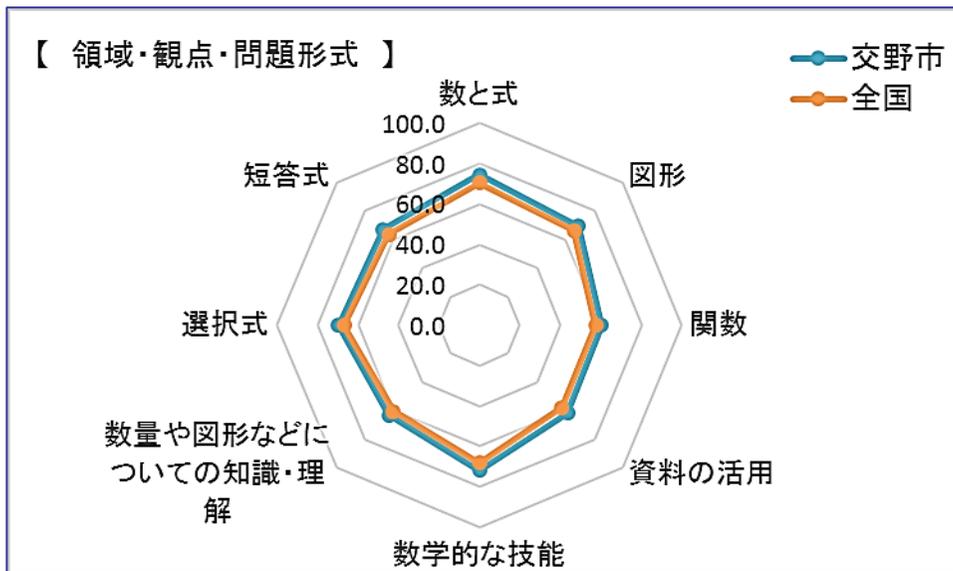
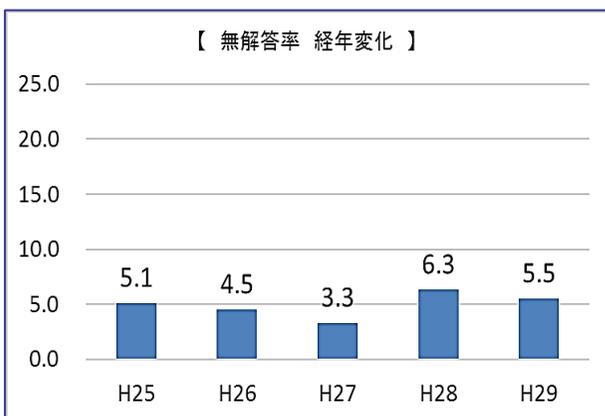
- ・平均正答率は全国平均値を上回り、対全国比も昨年度の値を上回っている。
- ・正答数分布の様子は全国と同傾向で、全国は8問を、交野市は9問を頂点とした右よりの山型を描いている。



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- ・「書くこと」「関心・意欲・態度」「記述式」で低い値を示している。



- ・平均正答率は全国を3.5ポイント上回り、対全国比も昨年度を上回った。
- ・正答数分布の様子は全国の状況と同傾向で、全国・交野市ともに33問を頂点とした右よりの山型を描いている。



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は、すべての項目において全国を上回っている。

【問題9】

長方形の縦の長さや面積の関係を「...は...の関数である」という形で表現する。

■出題の趣旨

関数の意味を理解している。

■正答率 22.5%(全国:20.6%)

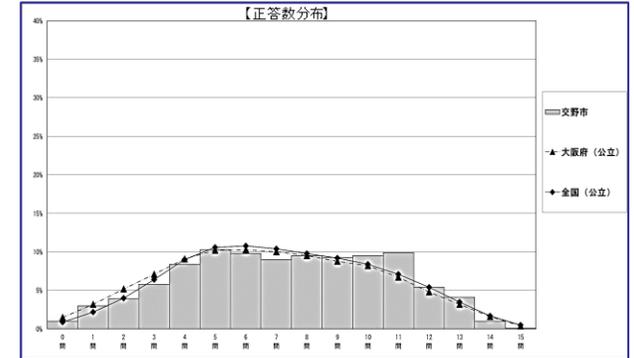
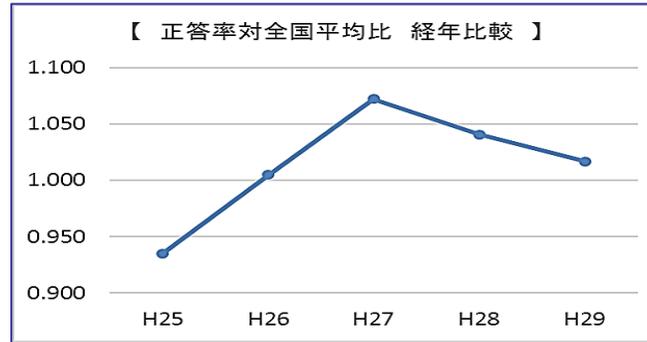
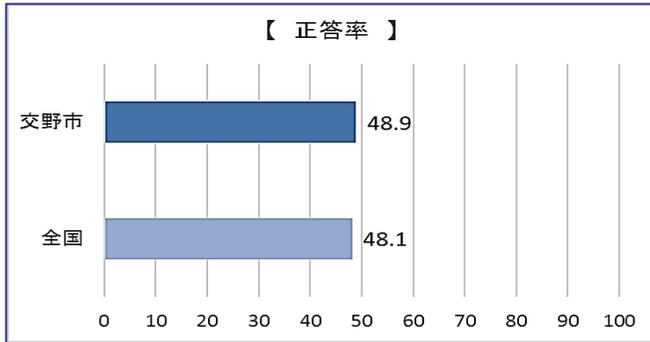
無回答率 20.3%(全国:20.6%)

数学 A 9 関数の意味

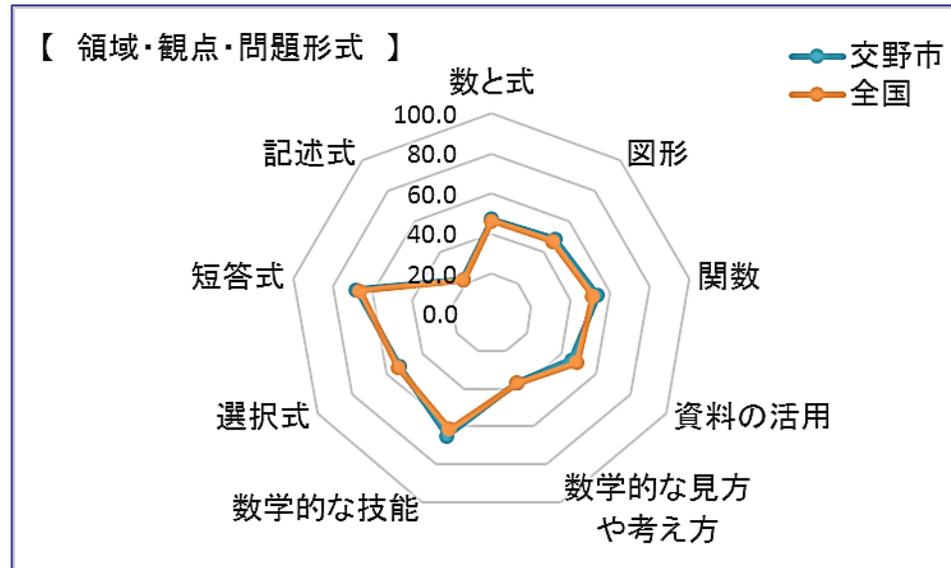
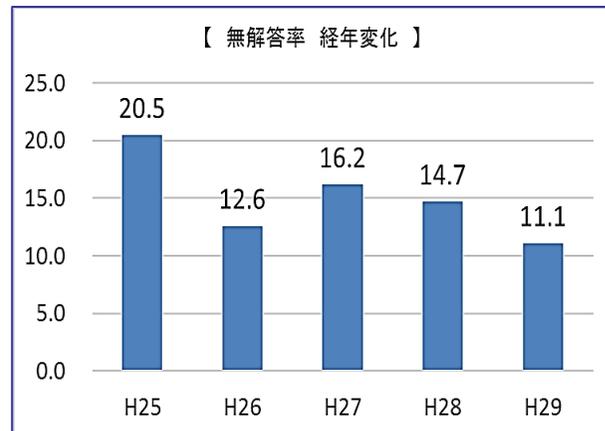
9 縦と横の長さの和が20 cmの長方形について、「縦の長さを決めると、それにもなって面積がただ1つ決まる」という関係があります。

下線部を、次のように表すとき、とに当てはまる言葉を書きなさい。

はの関数である。



- ・平均正答率は全国を上回り、対全国比は昨年度より下回った。
- ・正答数分布の様子は全国との状況とほぼ同傾向で、全国は6問、交野市は5問を頂点としたやや左よりの山型を描いているが、10問・11問については全国値より高い値を示している。



- ・領域・観点・問題形式別正答率の状況は全国と同傾向である。
- ・「資料の活用」「数学的な見方や考え方」「記述式」で特に低い値を示している。

【問題5(3)】「(運動時間が)420分未満より420分以上の女子の方が、合計点が高い傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。

■出題の趣旨

資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

■正答率 12.0%(全国:17.6%)

無解答率 31.1%(全国:31.2%)

数学B ⑤ 情報の適切な選択と判断 (運動時間の調査)

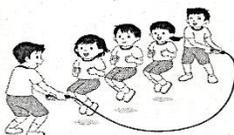
⑤ 体育委員会は、全校生徒の体力向上のために、1週間で420分(1日あたり60分)運動することを目標にしようと考えています。そこで、体育委員会では、全校生徒の1週間の総運動時間を調べるアンケートを実施しました。体育委員の若菜さんは、全校生徒のうち女子の結果を、下の度数分布表にまとめました。

1週間の総運動時間の度数分布表(女子)

| 階級(分) | 度数(人) |
|-------------|-------|
| 以上 未満 | |
| 0 ~ 300 | 55 |
| 300 ~ 600 | 12 |
| 600 ~ 900 | 26 |
| 900 ~ 1200 | 29 |
| 1200 ~ 1500 | 15 |
| 1500 ~ 1800 | 6 |
| 1800 ~ 2100 | 2 |
| 合計 | 145 |

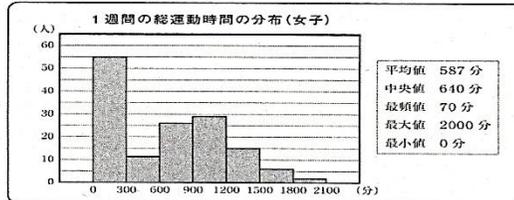
次の(1)から(3)までの各問に答えなさい。

(1) 1週間の総運動時間の度数分布表(女子)において、420分が含まれる階級の度数を書きなさい。



(2) 若菜さんは、女子の1週間の総運動時間について調べたことを、次のようにまとめました。

若菜さんが調べたこと



若菜さんの1週間の総運動時間は670分です。全校生徒の女子の中で、若菜さんの1週間の総運動時間より長い人が多いのか、短い人が多いのかは、670分がある値と比べることでわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

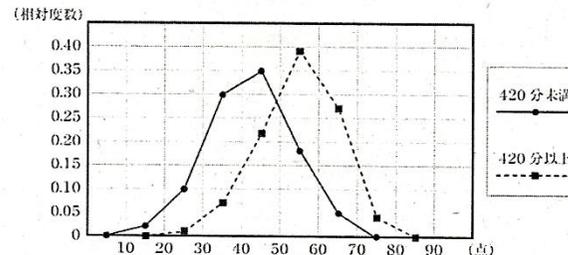
- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値

(3) 若菜さんは、1週間の総運動時間が420分未満と420分以上の女子では、体力テストの合計点に違いがあるのではないかと考えました。そこで、420分未満と420分以上の女子で分けて、体力テストの合計点をまとめた度数分布表をもとに、相対度数を求め、相対度数の度数分布多角形(度数折れ線)に表しました。

体力テストの合計点の度数分布表

| 階級(点) | 420分未満 | | 420分以上 | |
|---------|--------|------|--------|------|
| | 度数(人) | 相対度数 | 度数(人) | 相対度数 |
| 10 ~ 20 | 1 | 0.02 | 0 | 0.00 |
| 20 ~ 30 | 6 | 0.10 | 1 | 0.01 |
| 30 ~ 40 | 18 | 0.30 | 6 | 0.07 |
| 40 ~ 50 | 21 | 0.35 | 19 | 0.22 |
| 50 ~ 60 | 11 | 0.18 | 33 | 0.39 |
| 60 ~ 70 | 3 | 0.05 | 23 | 0.27 |
| 70 ~ 80 | 0 | 0.00 | 3 | 0.04 |
| 合計 | 60 | 1.00 | 85 | 1.00 |

若菜さんが作った度数分布多角形



若菜さんが作った度数分布多角形から、「1週間の総運動時間が420分以上の女子は、420分未満の女子より体力テストの合計点が高い傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、若菜さんが作った度数分布多角形の2つの度数分布多角形の特徴を比較して説明しなさい。

【児童・生徒アンケートの結果概要】

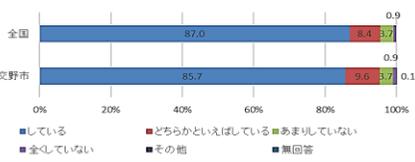
基本的な生活習慣

■「朝食を毎日食べている」児童・生徒の割合が昨年度より小学校で増加、中学校で減少(小:84.7%→85.7%・中:83.3%→80.9%)した。全国との比較においては小中ともに低い結果となった。

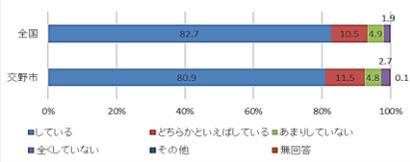
■「毎日、同じくらいの時刻に起きている」児童・生徒の割合が昨年度より小中ともに増加(小:90.7%→91.3%・中89.8%→91.3%)した。しかし、全国(小:91.2%・中:92.4%)との比較においては、中学校では1.1%低い結果となった。

■「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」児童・生徒の割合が小学校は昨年度から増加、中学校で減少(小:77.9%→80.1%・中:75.2%→73.8%)した。全国(小:79.8%・中:75.6%)との比較においては中学校で低い結果となった。

【小】朝食を毎日食べている



【中】朝食を毎日食べている

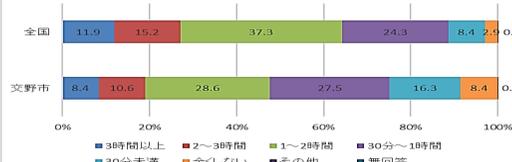


学習習慣

■「普段の日の家で学習時間が30分未満」の児童・生徒の割合が、昨年度より小・中学校ともに増加(小:24.3%→24.7%・中:16.8%→20.7%)した。全国(小:11.3%・中:13.2%)との比較においては小中ともに高い結果となった。

■「家で、学校の授業の復習をしている」児童・生徒の割合が、昨年度より小学校で増加、中学校で減少(小:33.9%→37.9%・中:45.7%→42.6%)した。全国(小:53.8%・中:50.5%)との比較においては小中ともに大幅に低い結果となった

【小】学校の授業時間以外(月～金)の1日当たりの勉強時間



【中】学校の授業時間以外(月～金)の1日当たりの勉強時間



読書習慣

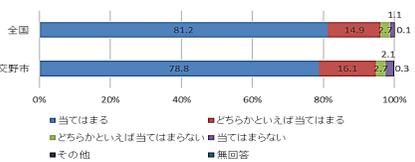
■「普段の日の家や図書館での読書について、全くしない以外の児童・生徒の割合は、昨年度より小・中学校ともに減少(小:73.3%→71.2%・中:66.2%→61.5%)した。全国(小:79.4%・中:64.2%)との比較においても小・中学校ともに低い結果となった。

規範意識

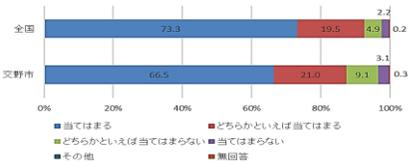
■「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」児童・生徒の割合が、昨年度より減少(小:95.8%→94.9%・中:94.1%→87.5%)した。全国(小:96.1%・中:92.8%)との比較においても小・中学校ともに低い結果となった。

■「学校のきまり(規則)を守っている」児童・生徒の割合が、昨年度より小学校で増加、中学校で減少(小:88.1%→89.1%・中:95.9%→95.4%)した。全国(小:92.6%・中:95.2%)との比較においては、小学校で低い結果となった。

【小】いじめはどんな理由があってもいけないことだ



【中】いじめはどんな理由があってもいけないことだ



授業での様子

■「授業の内容はよくわかる」児童・生徒の割合が

①国語においては昨年度より小学校が増加、中学校は減少(小国:76.7%→80.0%・中国:72.7%→69.1%)した。

②算数・数学においては昨年度より増加(小算:78.4%→80.2%・中数:69.1%→71.5%)した。

■前年度までの授業において、

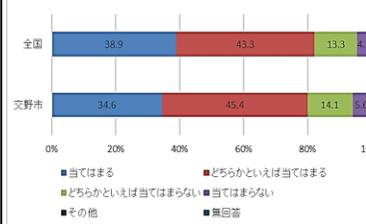
①「学級の友達(生徒)の間で話し合う活動をよく行っていた」児童・生徒の割合が増加(小:81.9%→87.1%・中:73.8%→78.6%)した。

②「自分の考えを発表する機会を与えられていた」児童・生徒の割合が昨年度より小学校で増加、中学校で減少(小:81.9%→84.9%・中:83.1%→80.1%)した。

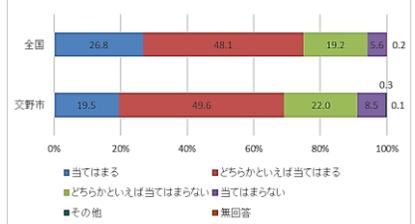
③「授業の中で目標が示されていた」児童・生徒の割合が昨年度より増加(小:86.4%→90.4%・中:82.4%→86.6%)した。

④「授業の最後に学習内容を振り返っていた」児童・生徒の割合が昨年度より増加(小:75.5%→76.1%・中:56.1%→67.9%)した。

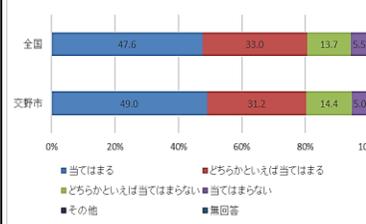
【小】国語の授業の内容はよく分かる



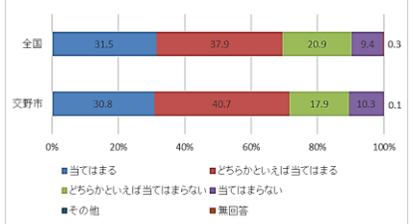
【中】国語の授業の内容はよく分かる



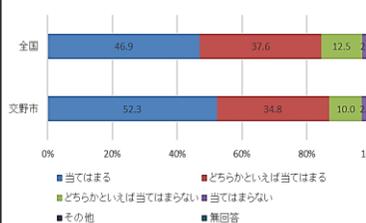
【小】算数の授業の内容はよく分かる



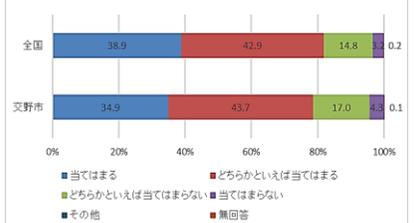
【中】数学の授業の内容はよく分かる



【小】授業では友達との間で話し合う活動をよく行っていた



【中】授業では友達との間で話し合う活動をよく行っていた

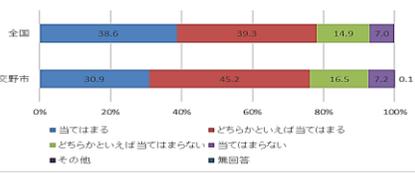


自尊感情

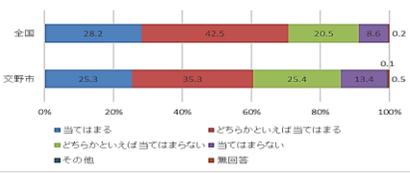
■「自分にはよいところがあると思う」児童・生徒の割合が、昨年度より小学校では増加、中学校で減少(小:74.7%→76.1%・中:63.6%→60.6%)した。全国(小:77.9%・中:70.7%)との比較においては小中ともに低い結果となった。

■「将来の夢や目標をもっている」児童・生徒の割合が昨年度より小学校で増加、中学校で減少(小:83.0%→85.4%・中:72.1%→67.3%)した。全国(小:85.9%・中:70.5%)との比較においては、小・中学校ともに低い結果となった。

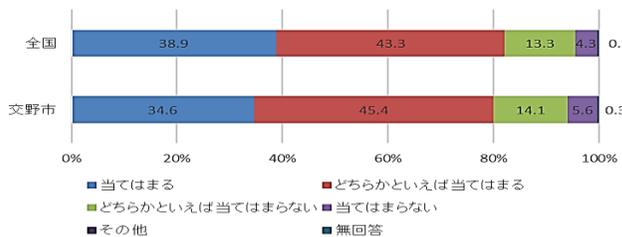
【小】自分にはよいところがある



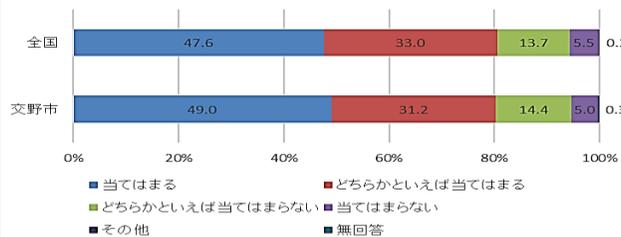
【中】自分にはよいところがある



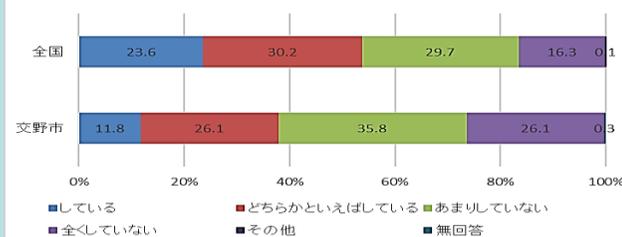
【小】国語の授業の内容はよく分かる



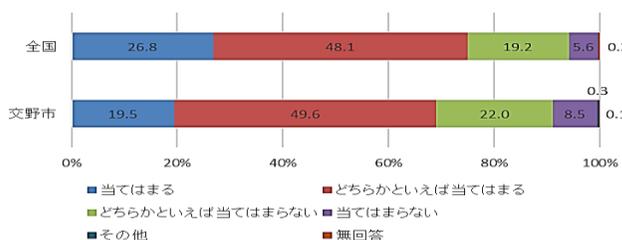
【小】算数の授業の内容はよくわかる



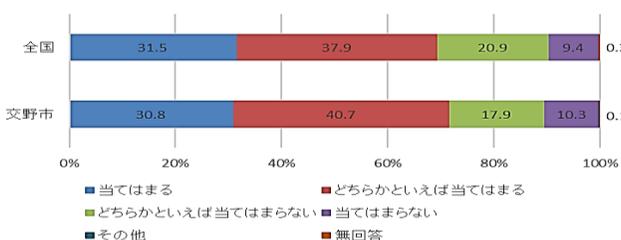
【小】家で学校の授業の復習をしている



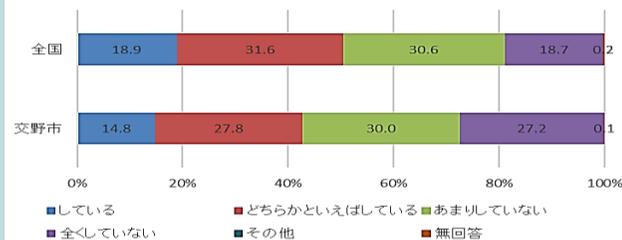
【中】国語の授業の内容はよく分かる



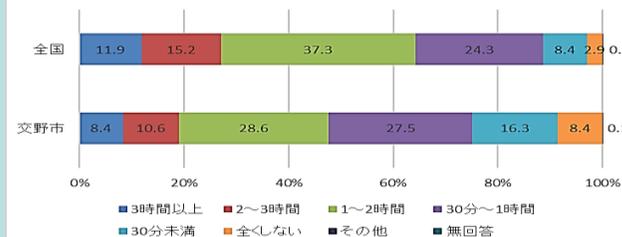
【中】数学の授業の内容はよく分かる



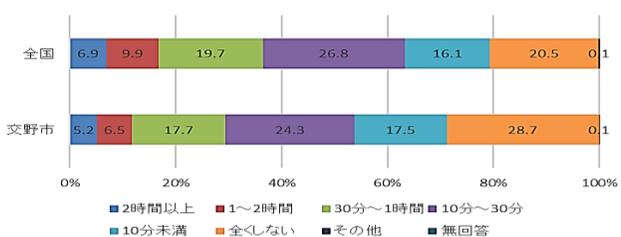
【中】家で学校の授業の復習をしている



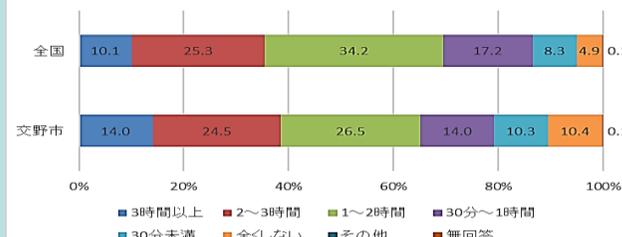
【小】学校の授業時間以外(月～金)の1日当たりの勉強時間



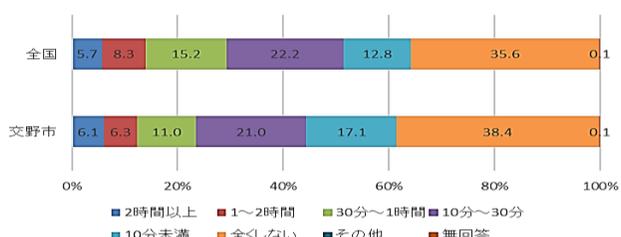
【小】一日当たりの読書時間(月～金)



【中】学校の授業時間以外(月～金)の1日当たりの勉強時間



【中】一日当たりの読書時間(月～金)



◆「国語・算数(数学)の授業の内容がわかる」と回答した割合は、小学校では全国を下回っている。

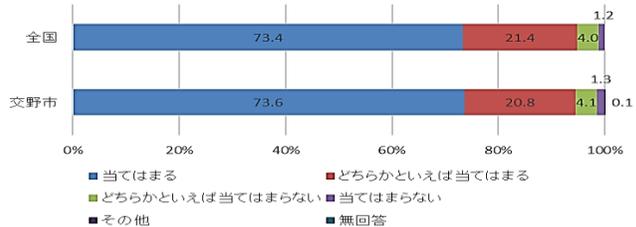
◆「家で学校の授業の復習をしている」と回答した割合は、小・中ともに全国を下回っている。

◆「1日あたりに勉強する時間が30分未満」と回答した割合は、小・中ともに全国を上回っている。

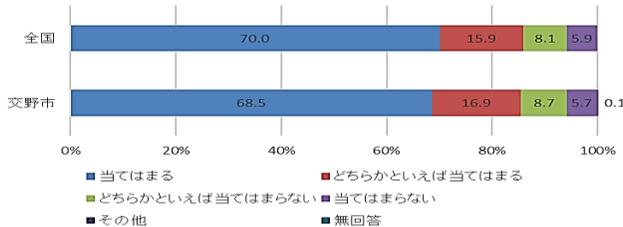
◆「1日に読書を全くしない」と回答した割合は、小・中ともに全国を上回っている。

【豊かな人間性と夢】(児童・生徒アンケートの結果概要)

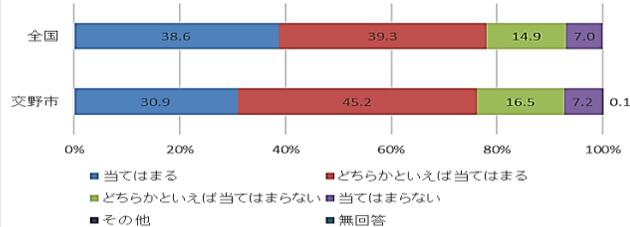
【小】最後までやり遂げてうれしかったことがある



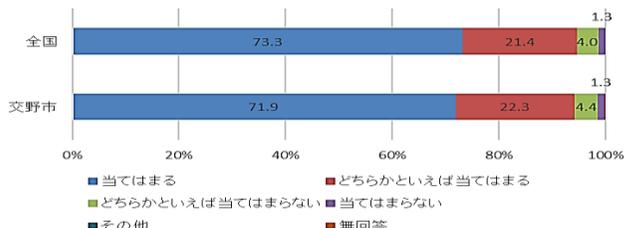
【小】将来の夢や目標を持っている



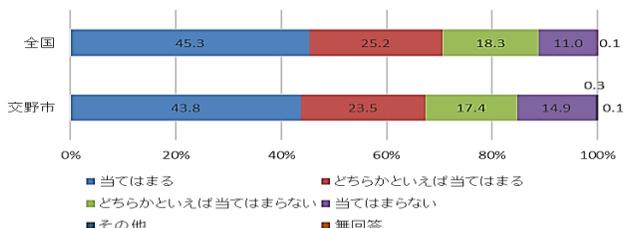
【小】自分にはよいところがある



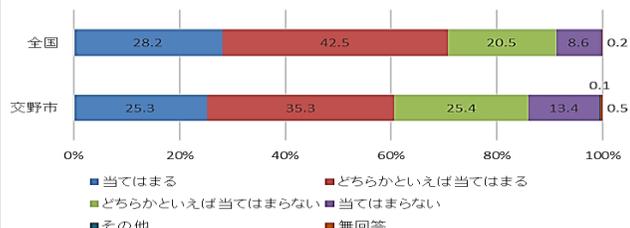
【中】最後までやり遂げてうれしかったことがある



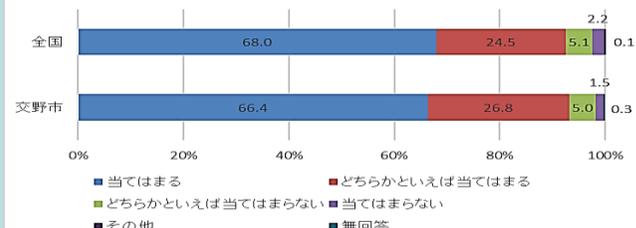
【中】将来の夢や目標を持っている



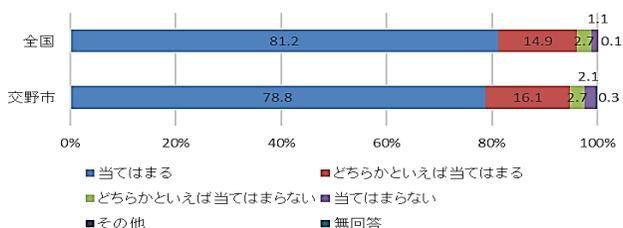
【中】自分にはよいところがある



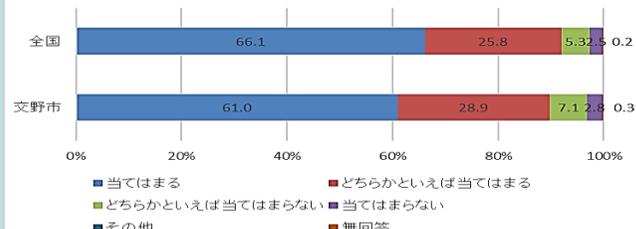
【小】人の役に立つ人間になりたい



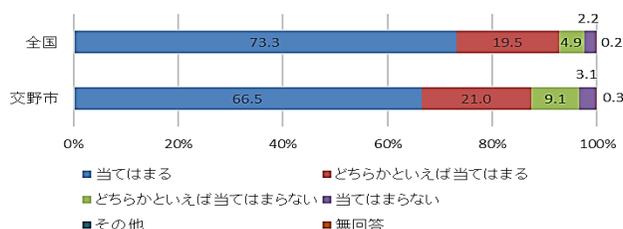
【小】いじめはどんな理由があってもいけないことだ



【中】人の役に立つ人間になりたい

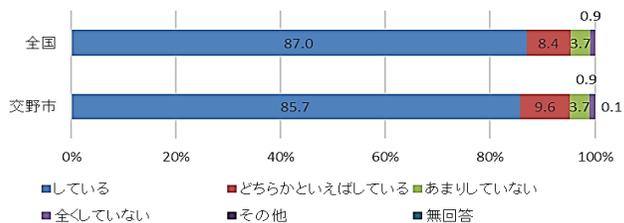


【中】いじめはどんな理由があってもいけないことだ

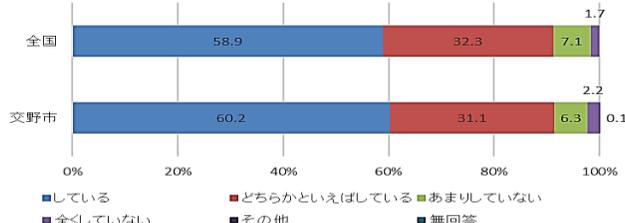


- ◆「最後までやりとげてうれしかったことがある」と回答した割合は、小・中ともに全国とおおむね同じ水準にある。
- ◆「将来の夢や目標を持っている」と回答した割合は、小学校では全国とおおむね同水準であるが、中学校は全国を下回っている。
- ◆「自分にはよいところがある」と回答した割合は、小・中ともに全国を下回っている。
- ◆「人の役に立つ人間になりたい」と回答した割合は、小学校では全国を上回っているが、中学校は下回っている。
- ◆「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合は、小・中ともに全国を下回っている。

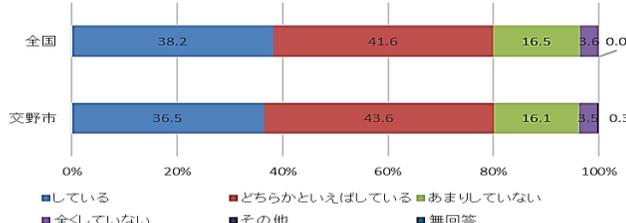
【小】朝食を毎日食べている



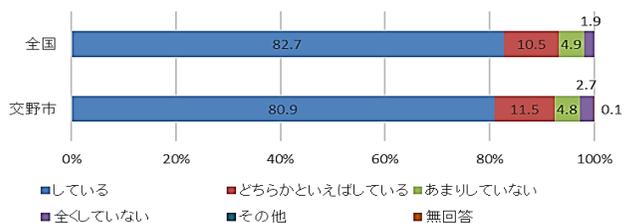
【小】毎日、同じくらいの時刻に起きている



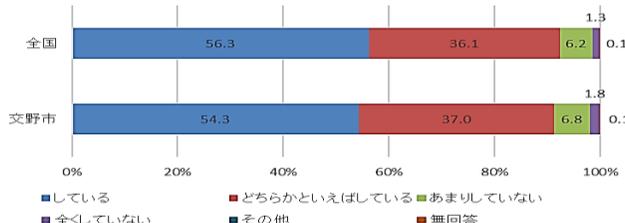
【小】毎日、同じくらいの時刻に寝ている



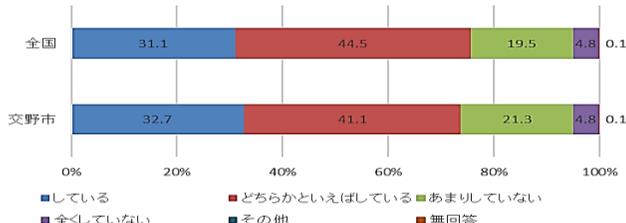
【中】朝食を毎日食べている



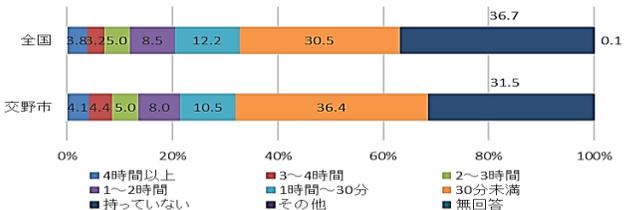
【中】毎日、同じくらいの時刻に起きている



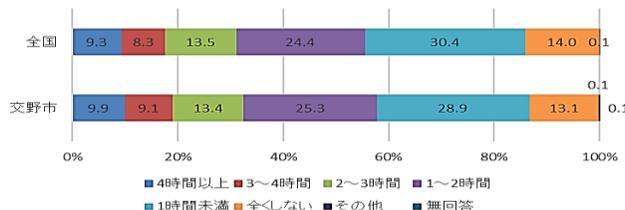
【中】毎日、同じくらいの時刻に寝ている



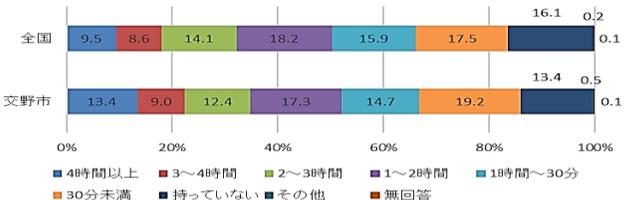
【小】一日当たりのスマホなどで通話やメールをする時間(月～金)



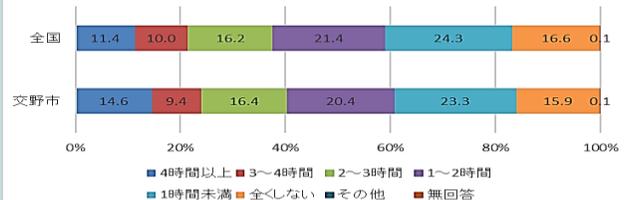
【小】一日当たりのコンピュータなどでゲームをする時間(月～金)



【中】一日当たりのスマホなどで通話やメールをする時間(月～金)



【中】一日当たりのコンピュータなどでゲームをする時間(月～金)



- ◆「朝食を毎日食べている」と回答した割合は、小学校では全国と同水準であるが、中学校では下回っている。
- ◆「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した割合は、小学校では全国と同水準であるが、中学校では全国を下回っている。
- ◆「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した割合は、中学校は全国を下回っている。
- ◆「1日あたりのメール等をする時間が1時間以上」と答えた割合は、小・中ともに全国を上回っている。
- ◆「1日あたりのゲームをする時間が1時間以上」と答えた割合は、小・中ともに全国を上回っている。

【平成29年度全国学力・学習状況調査 まとめ】

■教科に関する調査より

◇平均正答率について、全国平均と比較すると、

- ・小学校では、全国平均との比較において、算数Aで全国と同水準であったが、それ以外については、全国平均を下回る結果となった。
- ・中学校では、すべての教科・区分において、全国平均を上回る結果となった。

◇無解答率について、昨年度の交野市の結果と比較すると、

- ・小学校では、すべての教科・区分において無解答率の割合は減少し、大幅に改善が見られた。
- ・中学校では、国語B・数学A・数学Bについては、無解答率の割合は減少し、改善が見られた。しかし、国語Aについては、昨年度より微増し、課題が見られる結果となった。

■生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査より

- ・各学校において、授業改善が進み、「授業づくり」に関する項目では、肯定的な回答が増加した。しかしながら、「読書習慣の定着」においては、昨年度との比較及び全国値との比較の両方において、小・中学校ともに下回っており、今後の課題といえる。
- ・「最後までやり遂げてうれしかったことがある」と答えた児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均とおおむね同水準であった。その一方で「自分にはよいところがある」と答えた児童・生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均を下回り、課題が見られる結果となった。

◆交野市教育委員会として、今回の結果も踏まえ、今年度後半に以下の取組みを行います。

- ① **授業の充実**・・・学力向上担当者会において、「かたのスタンダード」に基づいたペア・グループ学習や、授業の最後のふりかえりに関しての意識の向上について働きかけ、「すべての子どもがわかる・できる授業づくり」を一層進めます。また、先進地域の取組みを各校に紹介し、授業の充実・教育活動の充実を図ります。個別の学校の課題に対しては、消耗品等の支援もします。
- ② **学校への人的支援**・・・35人学級を小学校6年生にまで拡大したことに加え、学校の課題に応じた学校支援員の派遣を充実させることで、よりきめ細やかな指導ができるようにします。また、大学生(EF=イングリッシュフレンド、SNS安全教室指導員)やプログラミング補助員等の外部人材の派遣により、児童の学習意欲の向上を図ります。
- ③ **「小中一貫教育の推進」**・・・小中一貫教育の取組みの中で、小・中学生の交流や小学校間の交流を支援し、自己有用感や自尊感情、学校や校区に対する愛着を高めます。また、プログラミング学習や外国語活動等を通じ、子ども同士が協働しながら学び合える体制を整えるなど、学習活動の更なる充実を図ります。
- ④ **学校と家庭との連携**・・・「学園(中学校区)プラン2018」(仮称)の作成を支援し、学校・保護者・地域が共通の目標を持って子どもたちの育成ができるようにします。
- ⑤ **「読書推進活動の定着」**・・・教育委員会、学校が連携し、小・中学校への学びあいサポーターや図書館アドバイザーの派遣等を通じて、学校図書館を授業で積極的に活用することで、子どもの読書習慣の定着と言語活用力の向上をめざします。